HPはこちら

東日本ユニオン NEWS

ＪＲ東日本労働組合
発行者　情報宣伝部
2025 年８月 24 日 №926

猛暑が続く中、全社員の奮闘により お盆期間のご利用状況は前年を上回る！

８月18日に発表された「お盆期間のご利用状況」によれば、８月８日～８月17日の期間中、多くのお客さまにご利用いただき、前年を上回るご利用状況となりました。

社員一丸となって経営側が強調していた課題克服に向けて奮闘！

●2.8 ヶ月となった「2025 年度夏季手当」における経営側の主張

・東北新幹線のご利用が伸びていない！

・インバウンドを当社エリアに取り込む努力がさらに必要！

★新幹線・在来線のご利用状況（主要 16 区間計）

下り→241.4 万人　対前年比１０９％

上り→233.5 万人　対前年比１０５％

合計　474.9 万人　対前年比１０７％

記録的な猛暑が続く中、この間「安全・安定輸送」を確保し、サービスの向上やインバウンド対応、そして信頼回復に向けた全社員による努力の積み重ねが、前年を上回るご利用状況につながったと言えます！

一方で山形新幹線は６月17日に発生したＥ８系の車両故障の影響により前年を下回る結果となりました。

山形新幹線（福島～米沢）→10.2 万人　対前年比９０％

お盆期間中、車両の手配がつかず山形新幹線の臨時列車が 66 本も運休となったことは、まさに「経営の責任である」と言えるのではないでしょうか。

前年を上回るご利用状況をつくりだしてきた 全社員の奮闘に応える成果配分を 2025年度年末手当で求めていこう！